

JASCT

ニューズレター

第5巻第1号

昭和61年(1986年)2月

発行人: 松本清一 印刷所: 絢文社

JASCT理事会からのお知らせ

1 新しい役員体制

JASCTの活動を強化するため、役員を増強し、新しい体制は次のとおりとなりました。

- | | | | |
|--------|-------------------------------|--------------|-----------------------------|
| • 名誉会長 | Patricia Schiller
(AASECT) | • 理事 | 山崎 高明
(山崎産婦人科医院長) |
| • 会長 | 松本 清一
(自治医科大学附属看護学校長) | " | 亀谷 謙
(一心病院産婦人科医長) |
| • 副会長 | 石浜 淳美
(前小山市民病院長) | " | 河野 友信
(都立駒込病院心療内科長) |
| • 常務理事 | 野末 源一
(日赤医療センター婦人科部長) | " | 長田 尚夫
(聖マリアンナ医科大学泌尿器科教授) |
| " | 東福寺英之
(練馬綜合病院顧問) | • 監事
(新任) | 飯沼 守夫
(東京女子医科大学名誉教授) |
| • 理事 | 斉藤 宗吾
(斉藤クリニック院長) | • 幹事 | 島村 忠義
(日赤中央女子短期大学助教授) |
| " | 小比木啓吾
(慶応大学精神科助教授) | " | 高橋 良当
(東京女子医科大学糖尿病センター) |
| " | 本多 洋
(三井記念病院産婦人科部長) | " | 金子 和子
(日赤医療センターカウンセラー) |
| " | 武田 敏
(千葉大学教育学部教授) | • 事務局長 | 本郷 元夫
(新医学普及協会理事) |
| " | 長池 博子
(長池優生保護相談所長) | | |

2 担当理事の選任と担当理事会の設置

ニューズレターの編集責任者に長田理事, 研修会の企画・実施責任者に河野理事が就任しました。

さらに野末常務理事を長とし, 両理事をメンバーとする担当理事会を設置し, ニューズレターおよび研修会の充実をはかることといたしました。

Vol. 5

No.

1

JASCT事務所 長谷クリニック内 TEL 03(475)1780

〒107 東京都港区青山1-1-1 新青山ビル西館3F

性器感染症でのクラミジア検出法の進歩

聖マリアンナ医科大学泌尿器科学教授 長 田 尚 夫

Chlamydia trachomatis (*C. trachomatis*) はトラコーマや鼠径リンパ肉芽腫 (第四性病) などの病気を起こすことは古くから知られているが、近年は *C. trachomatis* が Sexually Transmitted Diseases (STD、性行為感染症) の病原体として注目されている。

従来は STD といえば淋疾が最も多かった。男性では淋菌性尿道炎である。ところが最近では淋菌によらない尿道炎すなわち非淋菌性尿道炎が急激に増加し、欧米においてもわが国においても非淋菌性尿道炎の方が淋菌性尿道炎を患者数において上回っている。この非淋菌性尿道炎の少なくとも半数は *C. trachomatis* が病原体であることが明らかにされた。

C. trachomatis による STD (性器感染であるので男性では非淋菌性尿道炎、女性では子宮頸管炎が主である) が淋菌感染症の 2~3 倍は存在している割には、臨床的関心が薄かったのは病原体であるクラミジアの検査が出来なかったためであった。

従来、わが国においてはクラミジアの検出同定は培養法が特殊な施設でおこなわれていたにすぎず、一般臨床家には無縁であった。また、臨床検査法として補体結合反応 (CF test) が存在していたが、*C. trachomatis* 感染症には感度が低くて性器感染症には役に立たなかった。

最近米国で新しいクラミジア診断法が開発され、臨床応用されているので、紹介したい。

現在 *C. trachomatis* を証明する診断法として

- (1) 細胞培養法
- (2) 血清抗体測定法
- (3) 直接塗抹染色法
- (4) 酵素免疫法

がある。

(1) 細胞培養法

クラミジアの培養にはウイルスと同様に培養細胞が必要である。クラミジアは生きた細胞内のみ生存して増殖するからである。培養細胞としては、HeLa 229 細胞と McCoy 細胞が用いられる。細胞質内に作られた封入体を検出する。検出にはギムザ染色、ヨード染色、蛍光染色、酵素抗体法がある。最近では蛍光染色、酵素抗体法が容易に封入体の確認が出来る。

現在クラミジア診断法としては最も確実な検査法であるが、細胞培養の技術や設備を要して一般の施設では困難である。結果が出るのに数日を要して迅速診断は無理である。

(2) 血清抗体測定

血清抗体を検出するもので、クラミジアそのものを検出するものではない。感染症の証明には間接的方法である。尿道炎や子宮頸管炎の病巣から直接検体を採取出来る性器感染症よりも、オーム病、肺炎などの全身感染症の診断に適している。micro-IF テスト、ELISA 法、CF テストがある。

(3) 直接塗抹染色法

検体中のクラミジアを直接採取して証明するものである。従来はギムザ染色、パパニューロー染色などをおこなっていたが、感度が低く、臨床的にほとんど役立たなかった。

最近、FITC 標識抗 *C. trachomatis* モノクローナル抗体を用いて蛍光染色すると、きわめて迅速で簡便に診断可能となった。尿道または子宮頸管からスワップで検体を採取し、標本中のクラミジアに FITC 標識抗 *C. trachomatis* モノクローナル抗体と反応させ、蛍光顕微鏡で観察する。

操作は 45 分で終了し、結果がすぐに分る。蛍光顕微鏡以外に特殊な装置を要しない。しかし、鏡検に多少の熟練を要する。

この試薬はモット化され、マイクロトラック (Micro TrakTM Chlamydia trachomatis Direct Specimen Test) として第 1 化学より、クラミセット (Chlamyset) として口際試薬から販売されている。

(4) 酵素免疫法

直接塗抹法と同様スワップに採取した、検体中のクラミジアに特殊加工したビーズに吸着させてから、抗クラミジア特異抗体と反応させた後、酵素標識抗体を結合させる。次いで酵素基質を添加し、酵素活性を492nmにて吸光度測定する。一定値以上の吸光度をクラミジア陽性と判定する。

分光光度計以外に特殊な器具を要せず、特殊な技術も必要としない。検査時間が5時間で、多数検体を同時に処理出来る。

この試薬はキットとなり、クラミジアザイム (ChlamydiazymeTM) としてダイナボット社から販売されている。

新製品のご案内

潤滑ゼリー「マイ・リューベ」

高令化社会を健康に生きる中高年者の性生活を豊かにする目的で開発された高分子化合物を基材とする新しいゼリーです。性治療に、また産婦人科等における器具の装着の際の潤滑剤、内診の際の挿入指への塗布剤として、広くご利用下さい。

〔商品名〕 MY LUVE マイ・リューベ

〔製造発売元〕 タイシン製薬株式会社

〒150 東京都渋谷区神宮前6-12-18

TEL 03-400-9887

<あっせん方法>

会員の方には特別価格であっせんいたしますので、下記要領により、JASCT事務局あてお申込み下さい。

記

1. 申込方法 所定振替用紙による

(お申込みの方に用紙をお送りします)

- | | | |
|------------------|----------|---------------------|
| 2. あっせん価格および申込単価 | ・ 40g入り | 単価 700円(定価1,200円) |
| | | 申込単位 12個 |
| | ・ 120g入り | 単価 1,150円(定価2,000円) |
| | | 申込単位 6個 |

説明用資料および試供品ご希望の方は、JASCT事務局にお申し出下さい。

ニューズレターへ投稿して下さい

ニューズレターは会員皆様のものです。そこで会員の声ともいべきスペースを作って、お互のコミュニケーションを密接にしてゆきたいと考えております。性に関する御意見、日常活動の様子など、情報交換の場になることを期待しております。どんなことでも結構ですから投稿をお待ちしております。

また、ニューズレターに関する御意見や御提案がありましたら、遠慮なく編集部までお寄せ下さい。

届先 JASCT事務局 編集部

〒107 東京都港区南青山1-1-1

新青山ビル西館3F 長谷クリニック内

第6回日本性科学会をおえて

昭和61年2月16日(日) 東京四谷・持田製薬ルークホールにおいて第6回日本性科学会が開催されました。会員の諸氏をはじめ多くの御協力を得まして、盛況のうちに無事終了いたしました。紙面を借りまして御礼申し上げます。

なお、当日御出席出来なかった会員のために学会抄録集を同封しておきました。性科学の関する幅広い分野からの演題がありましたので、お役に立てるのではないかと考えております。

学会長 最田 尚夫

事務局だより

お願い

○ 会員カード未提出の方へ

会員カードを整備し、新しい名簿を作成するため用紙をお送りいたしました。まだ未整備の状態の名簿の作成が遅れておりますので、未提出の方は至急お送り下さい。

なお、用紙ご入用の方はJASCT事務局にお申し出下さい。

○ 会費未納入の方へ

去る10月よりすでに新しい年度に入っております。未納の方はどうぞ宣敷くお願いいたします。

会の郵便振替用紙をご利用になれば手数料は無料です。

JASCT事務局の電話受付時間

月・水・金曜日 午前10時～午後1時

電話番号 (03) 475-1780

なお、上記時間以外は留守番電話で用件をお受けいたします。

新製品

クリニカル・ペリネオメーター

- 腔ミオグラフ・センサーを用いた筋運動描記の器械
- 恥骨尾骨筋の収縮力の測定、診断、強化が行える
- 記録計にて正確なデータが得られる
- 家庭でのトレーニング用に小型・軽量のパーソナル・ペリネオメーターもあります

資料ご請求下さい。



株式会社 東京エム・アイ商会 〒104 東京都中央区新川2丁目7番1号 ☎03(551)7873 (代)